

チャペルの窓

「20年後を描いて」

黒田 朔



4月初め、若者の交換プログラム、レインボーコネクション20周年を記念してハワイのマキキ教会から「シニア・アンバサダ・チーム」17名が来日。お城の教会マキキの原型高知城を訪ねる。殆どが初めての高知訪問で、市長、知事への表敬訪問を始め、行くところどころで歓迎され、最後のパーティーでは130人が集まり、いっまっまでを感謝す

るとともに、これからの20年へのスタートを喜び、祝った。

20年前、このプログラムがスタートした時、誰一人、こんな20年後を祝うとは予想もしていなかった。同じように、これから20年後、きっと、今、予想もしない現実を前に喜び、祝っているに違いない。「ことを始め、進める」とは予想もできない将来を描き、今、出来ることに忠実であることだと気づかされる。

阪南バイブルチャペルの20年後のために「今」を大切に、生きたいと願う。